

# 西武鉄道新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間） 連続立体交差事業

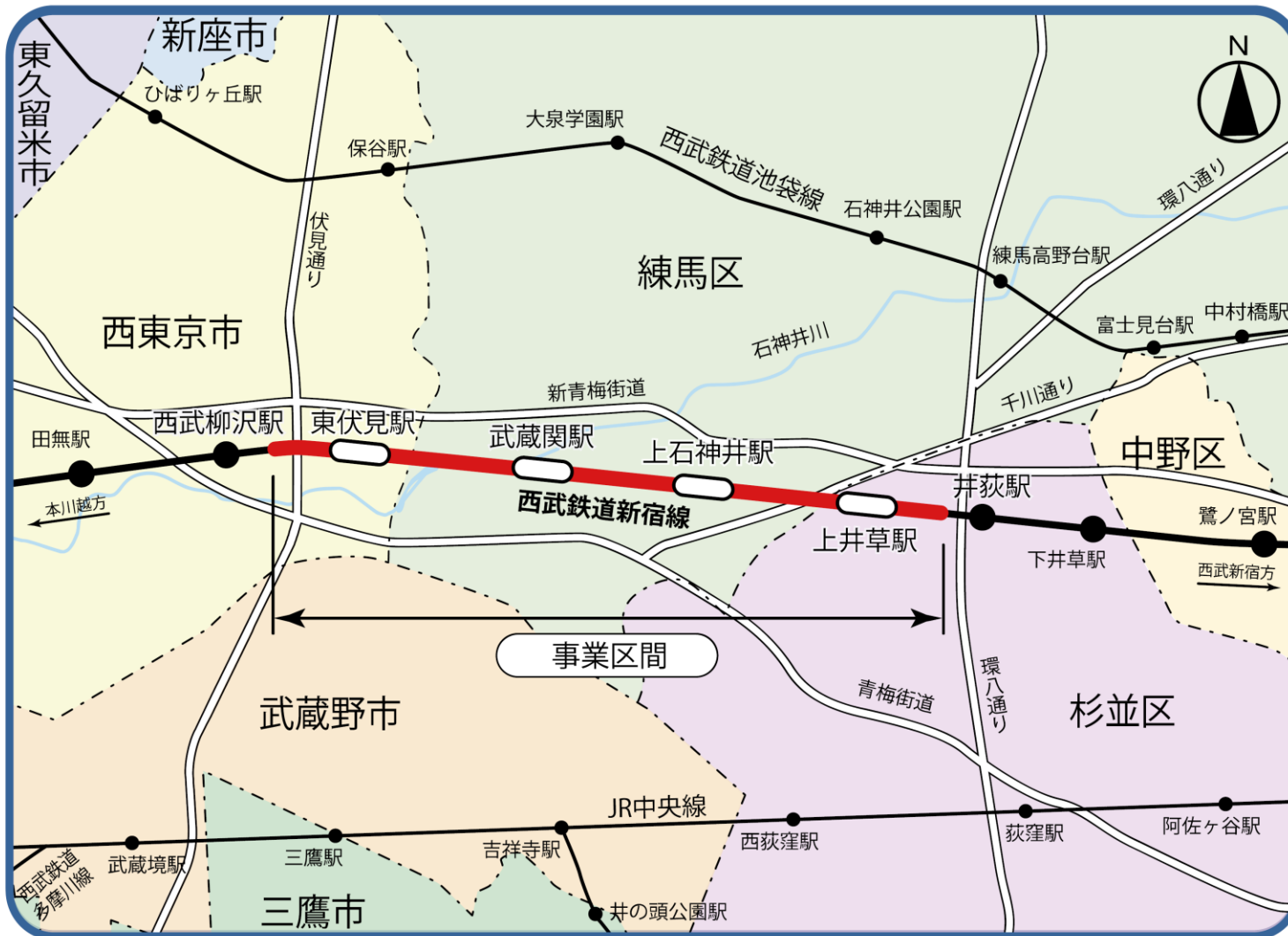
令和5年12月4日（月）  
建設局 道路建設部

# 目次

1.	事業概要	.....	1
2.	社会経済情勢等の変化	.....	4
3.	事業の投資効果	.....	5
4.	事業の進捗状況	.....	15
5.	事業の進捗の見込み	.....	16
6.	コスト縮減等	.....	17
7.	対応方針(原案)	.....	18
8.	事業促進への要望(参考)	.....	19
9.	周辺まちづくり(参考)	.....	20

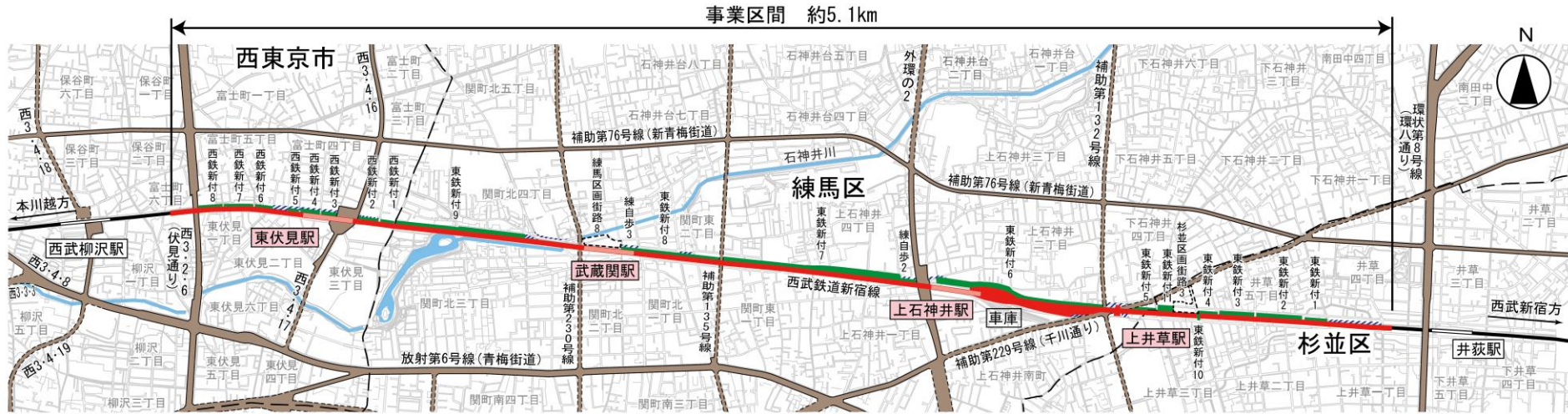
# 1. 事業概要

## 位置図

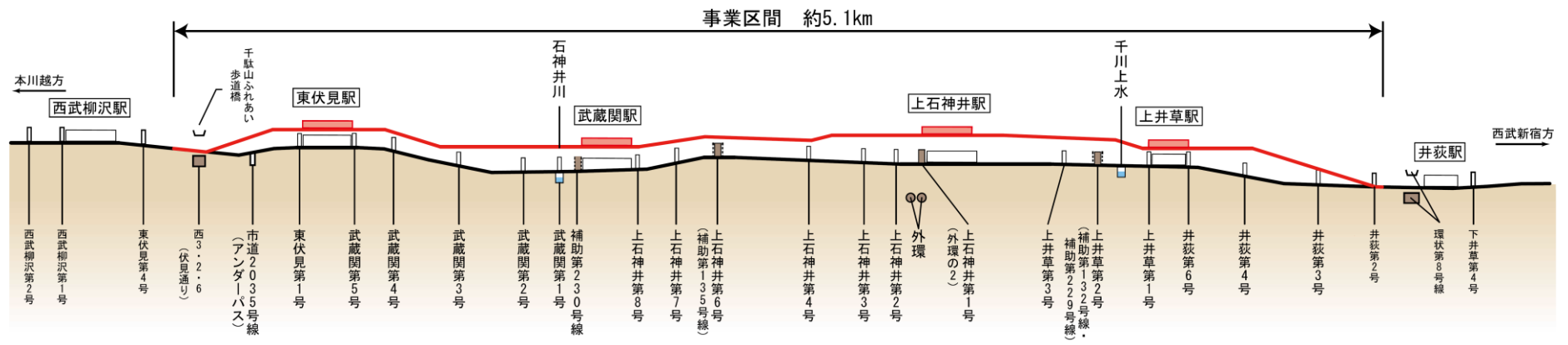


# 1. 事業概要

## 平面図



## 縦断図



# 1. 事業概要

## 事業期間

都市計画事業認可から15年（予定）令和5年度～令和19年度

## 事業の概要

本事業は、西武鉄道新宿線の井荻駅～西武柳沢駅間の約5.1kmについて鉄道を高架化することにより、19箇所踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。

## 経緯

年度	計画等
令和3年11月	都市計画決定

# 2. 社会経済情勢等の変化

## ピーク時1時間当たりの踏切遮断時間

踏切名称	平成26年	令和元年	(備考)
井萩第6号	44分	41分	開かずの踏切 歩行者ボトルネック
上井草第2号	45分	49分	開かずの踏切 自動車ボトルネック 歩行者ボトルネック
上石神井第1号	48分	50分	開かずの踏切 歩行者ボトルネック
武蔵関第5号	46分	47分	開かずの踏切 歩行者ボトルネック



上井草第2号踏切道

## 関連する他事業等の進捗状況

- ・東京都市計画道路幹線街路補助線街路第229号線
- ・東京都市計画道路幹線街路外郭環状線の2  
(平成26年度～令和9年度)
- ・東京都市計画道路幹線街路補助線街路第135号線
- ・東京都市計画道路幹線街路補助線街路第230号線

用地測量中  
用地取得中

事業化に向けて準備中  
用地測量中

# 3. 事業の投資効果

## 便益算定 フロー図

**■費用および便益算定の前提**

- 基準年次 : 令和5年度
- 供用年次 : 令和19年度(想定)
- 検討年数 : 供用後50年間
- 社会的割引率 : 4%

**■便益の算定**

- 移動時間短縮便益(自動車)
- 移動時間短縮便益(歩行者・自転車)
- 走行経費減少便益
- 交通事故減少便益

**■費用の算定**

- 連続立体交差事業  
(都市側負担のみ)
- 関連道路整備費
- 道路維持管理

**■現在価値の算定**

便益の現在価値 (B)      費用の現在価値 (C)

社会的割引率

**費用便益分析の実施 (B/C)**

# 3. 事業の投資効果

## 定量的効果

【事業全体】

便益 (B)	移動時間短縮便益 (a)	走行経費減少便益 (b)	交通事故減少便益 (c)	総便益 (a+b+c)	費用便益比 (B / C)
	2,306.1億円	57.7億円	28.9億円	2,392.7億円	
費用 (C)	連続立体交差事業費 (d)	関連道路整備費 (e)	維持管理費 (f)	総費用 (d+e+f)	1.2
	1,659.1億円	304.9億円	7.7億円	1,971.7億円	

注1) 費用便益分析マニュアル〈連続立体交差事業編〉(国土交通省 令和4年2月)に基づき分析した。

注2) 費用(C)の算定は、都市側負担額で算出している。

注3) 便益・費用については、基準年度における現在価値化後の値である。

注4) 便益及び費用合計額は、表示桁数の関係で計画値と一致しないことがある。



### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

	事 項	説明資料
交通	歩行者・自転車の回遊性の向上	有
	バスの定時性の向上	
くらし	高架下空間の活用による都市機能の向上	有
	市街地分断の解消	
安全	緊急車両のアクセシビリティの向上	有
	通学路の安全性確保	有
環境	自動車交通の円滑化による環境負荷の軽減	
防災	都市防災機能の向上	
その他	関連事業	有

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

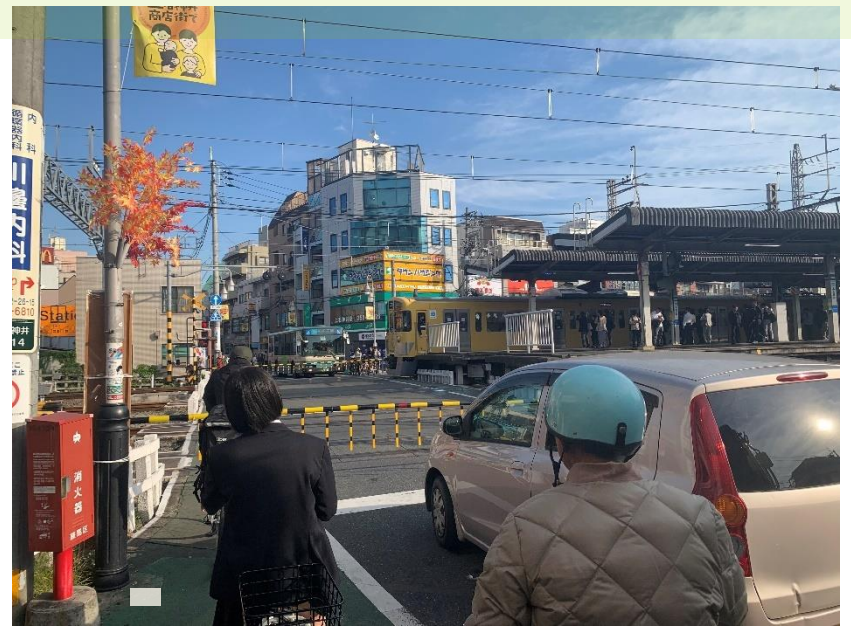
### ＜交通＞歩行者・自転車の回遊性

踏切の除却や上井草駅、上石神井駅、武蔵関駅、東伏見駅の高架化等により、南北市街地の行き来が容易になり、歩行者・自転車の移動が円滑化され、回遊性が向上する。

さらに、踏切渋滞が解消されて、バスの定時性が向上する。



上井草駅前周辺(井荻第6号踏切)の状況



上石神井駅前周辺(上石神井第1号踏切)の状況

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

<くらし> 高架下空間の活用による都市機能の向上

高架下空間を利用した保育施設等の活用による住環境の向上



高架下を利用した保育園(石神井公園付近)



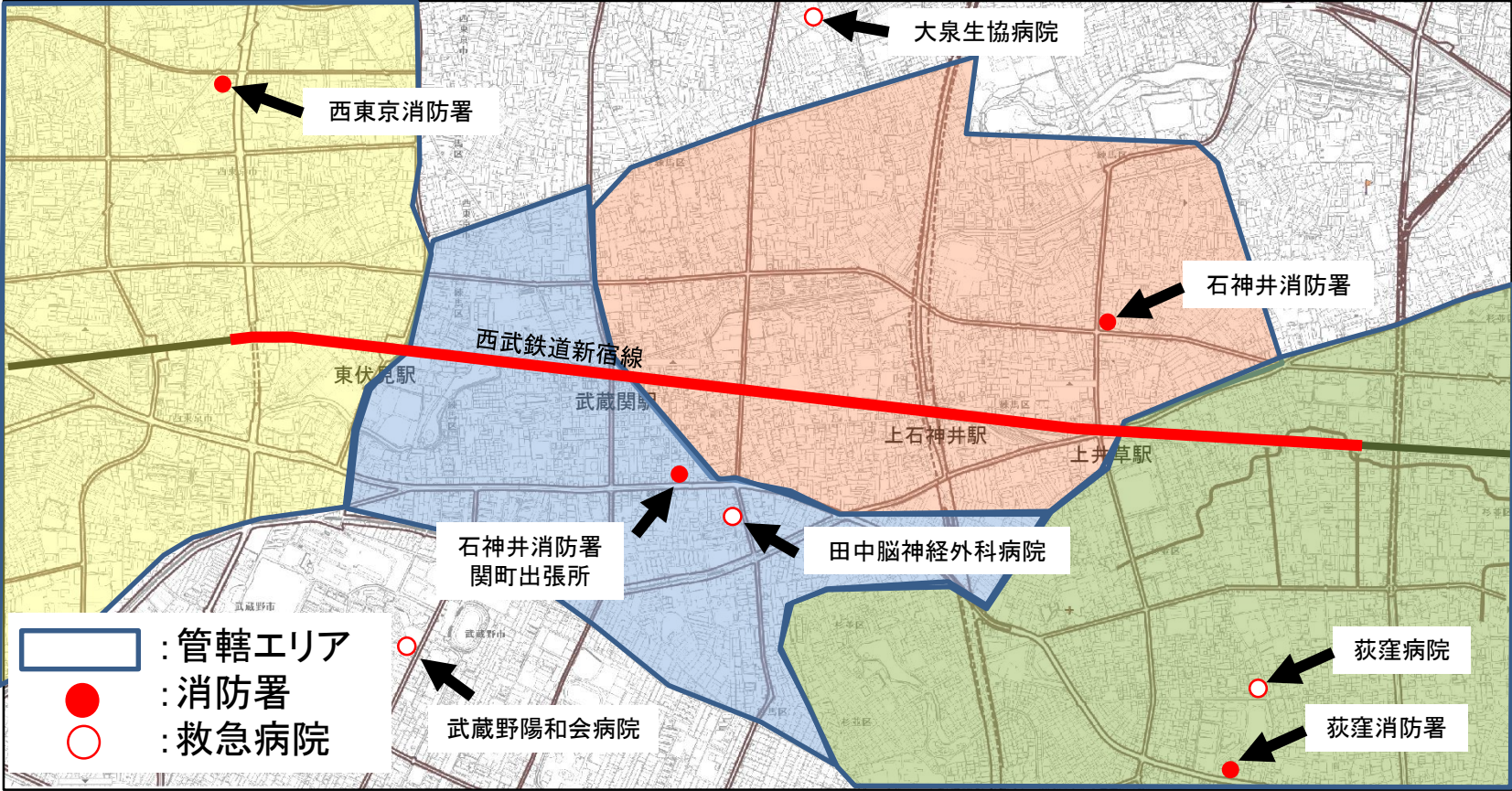
高架下を利用した駐輪場(石神井公園付近)

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

＜安全＞緊急車両のアクセシビリティの向上

踏切の除却により、救急搬送の移動時間の短縮が見込まれる。

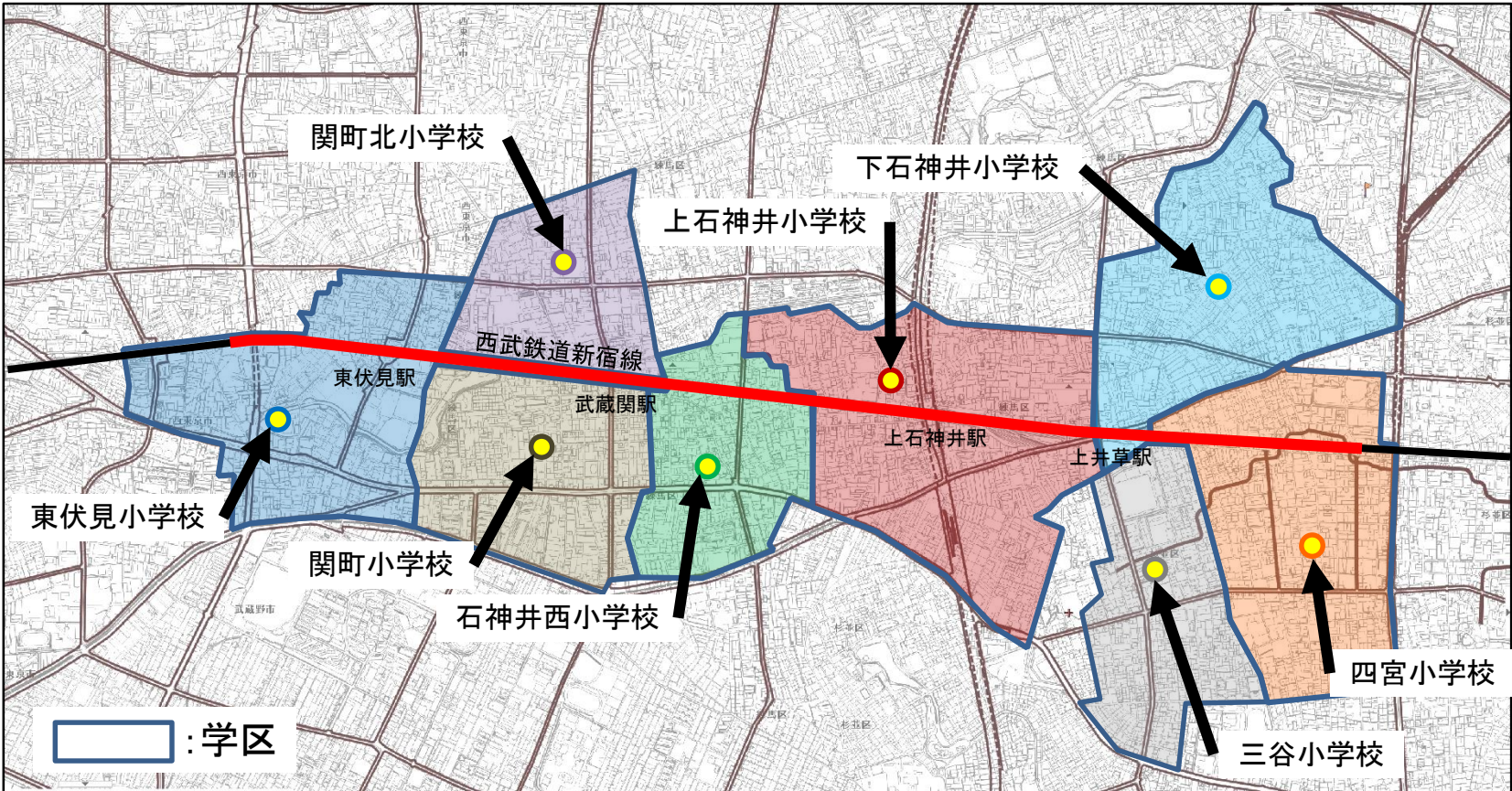


# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

### <安全> 通学路の安全性確保

踏切の除却により踏切を横断することなく通学できるようになるため、通学路の安全が確保がされる。



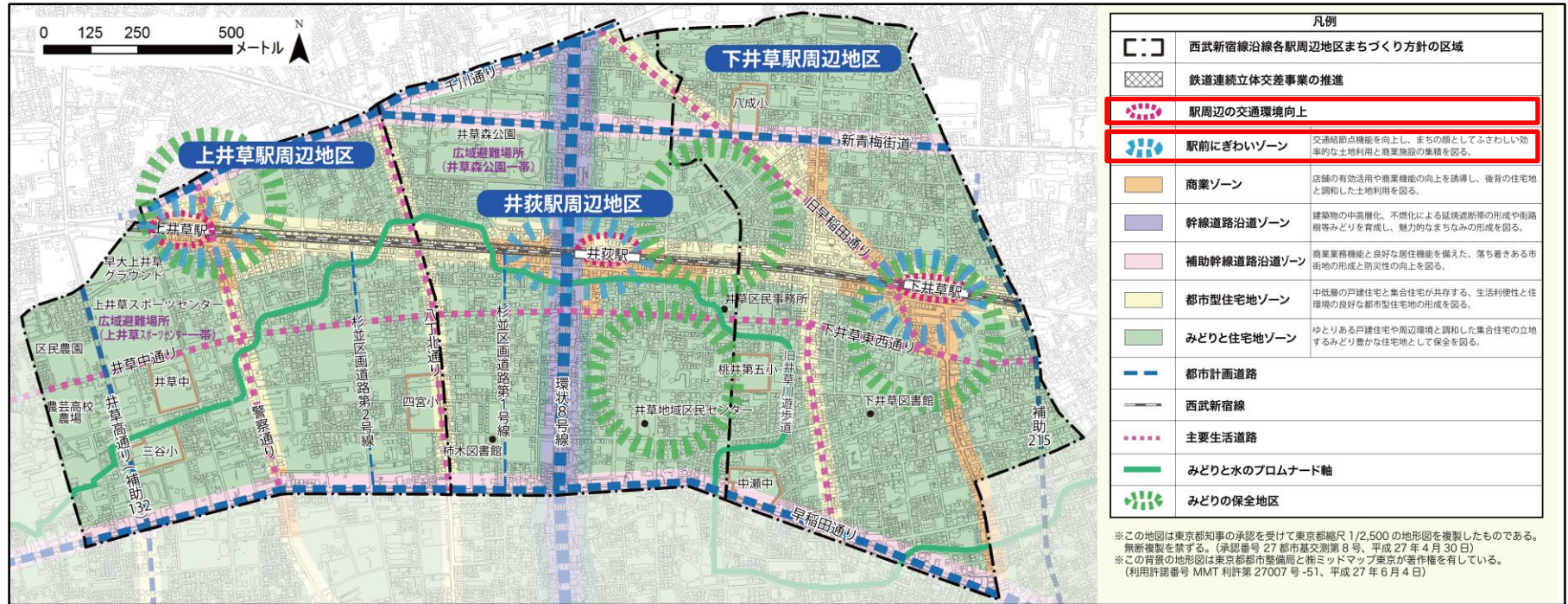
# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

### <その他> 関連事業

西武新宿線上井草駅付近の高架化に合わせた、駅前広場の整備等のまちづくりに貢献

○上井草駅周辺まちづくりのイメージ



【西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針（杉並区：平成28年2月）より】

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

### <その他> 関連事業

西武新宿線上石神井駅付近・武蔵関駅付近の高架化により、駅前広場の整備等のまちづくりに貢献

#### ○上石神井駅周辺まちづくりのイメージ

**3 まちづくり構想図**

道路交通、商業、住環境、防災、景観、ユニバーサルデザイン、土地利用の7項目で構成されるまちづくりの方針を地図に表現しました。これを上石神井駅周辺地区が目指すべきまちの将来像を定めた「まちづくり構想図」とします。

**まちづくり構想図**

まちづくり構想図をもとに、地域の方々と議論を深め、具体的な整備手法等の検討を進めます。

**まちづくりの取組み**

- 南北道路の整備促進 (都市計画道路の活用等)
- 歩行者系ネットワークの整備促進
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)

まちづくりの取組み

- 南北道路の整備促進 (都市計画道路の活用等)
- 歩行者系ネットワークの整備促進
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)

まちづくりの取組み

- 南北道路の整備促進 (都市計画道路の活用等)
- 歩行者系ネットワークの整備促進
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)

まちづくりの取組み

- 南北道路の整備促進 (都市計画道路の活用等)
- 歩行者系ネットワークの整備促進
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)
- 補76 (新青梅街道)
- 補32
- 補29 (千川通り)

【上石神井駅周辺地区まちづくり構想 (練馬区：令和3年6月) より】

#### ○武蔵関駅周辺まちづくりのイメージ

**まちづくりの方針**

- 安全・快適な道路や駅周辺の整備の推進
- 石神井川のうらおいやどり豊かなまち並みを守り育む
- 地域の資源等を活かした賑わい・交流の活性化
- ゆとりと安全、うらおいを感じられるまちの環境の創出

**まちづくりの取組み**

- 地域の特色を活かしたまち並みづくり
  - 良好な住環境や石神井川のうらおいを活かしたまち並みを目指しています。まちづくりルール等の検討をしています。
- 交通広場の整備
  - 詳細は1、2ページをご覧ください
- 石神井川の整備
  - 浸水被害を軽減するとともに、河川環境の向上を図るため、東京都が河川整備を進めています。
- にぎわいのある駅前空間の創出
  - 魅力あふれる駅前空間の創出を目指し、共同建替えの学習等を進めています。

**補助第230号線の整備** (新青梅街道～青梅街道間)

**補助第135号線の整備** (新青梅街道～青梅街道間)

河川整備のイメージ (松ノ木橋付近)

【西武新宿線連続立体交差事業に関連する交通広場計画・道路計画および沿線各駅周辺のまちづくりについて (練馬区：令和4年7月) より】

# 3. 事業の投資効果

## 定性的効果

＜その他＞関連事業

西武新宿線東伏見駅付近の高架化により、駅前広場の再整備等のまちづくりに貢献

○東伏見駅周辺まちづくりのイメージ



【東伏見駅周辺地区まちづくり構想（西東京市：平成30年3月）より】



## 4. 事業の進捗状況

### 事業の進捗状況

- 令和4年8月に用地測量等説明会を実施。  
（急激な新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集会方式から書面方式に変更した。）
- 現在、用地測量を実施。

## 5. 事業の進捗の見込み

### 事業の進捗の見通し

令和5年度中の都市計画事業認可取得(予定)

## 6. コスト縮減等

### 代替案立案の可能性

本事業を事業化するにあたり、鉄道の立体化を高架式、地下式等によって行う場合や、道路を単独で立体化する場合など、複数案で比較検討を行った結果、現在の構造形式及び事業手法を選定していることから、代替案立案の可能性は極めて小さい。

### コスト削減の取組

工事を実施するまでに、施工計画などにおいてコスト削減を検討していく。

## 7. 対応方針(原案)

### 総合評価

踏切の除却により、交通渋滞や踏切事故の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るためには必要不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要がある。

### 対応方針案

#### 継続

中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、国の補助金並びに鉄道事業者及び地元自治体の負担金の返還等の新たな費用が発生する。

さらに、踏切の除却を強く望む地元住民等の期待に応えられなくなるなど、中止による影響は多大。

# 8. 事業促進への要望(参考)

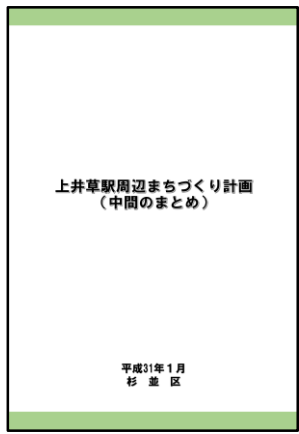
## 早期事業化等に関する要望書

時期	要望先	要望者
平成27年 1月29日	東京都知事	西武新宿線立体化促進協議会 (練馬区長)
平成27年 11月11日	東京都知事	西武新宿線立体化促進協議会 (練馬区長)
平成28年 4月19日	東京都知事	杉並区長 西武新宿線沿線各駅まちづくり協議会
平成30年 3月28日	東京都知事	西武新宿線立体化促進協議会 (練馬区長)
平成30年 7月10日	東京都知事	西東京市長 西東京市議会

# 9. 周辺まちづくり(参考:杉並区)



H28.2 『西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針』  
→まちの将来像や将来像の実現に向けた取り組みの方向性



H31.1 『上井草駅周辺まちづくり計画』(中間のまとめ)  
→連続立体交差化と一体となった駅周辺のまちづくり整備の骨子

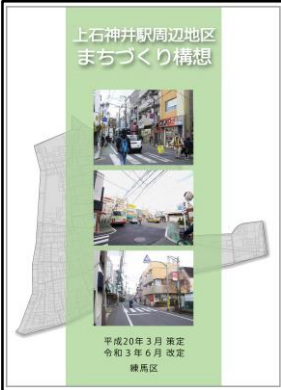


R1.7 『上井草駅周辺道路・交通施設整備計画』  
→駅前広場や駅前広場へ接続する道路の拡幅整備等、駅周辺の道路・交通施設の整備に関する方針



R5.3 『杉並区まちづくり基本方針(都市計画マスタープラン)』  
→将来都市像のイメージとまちづくりの到達すべき目標

# 8. 周辺まちづくり(参考:練馬区)



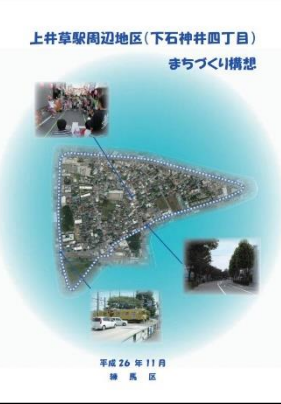
H20.3(R3.6改定) 『上石神井駅周地区辺まちづくり構想』

→具体的なまちの将来像



H26.5 『武蔵関駅周辺地区まちづくり構想』

→具体的なまちの将来像



H26.11 『上井草駅周辺地区(下石神井四丁目地区)まちづくり構想』

→具体的なまちの将来像



H27.12 『練馬区都市計画マスタープラン』

→まちづくりの総合的方針、都市計画に関する基本的方針、各地域で進めるまちづくりの指針



R4.7 『西武新宿線連続立体交差事業に関連する交通広場

計画・道路計画および沿線各駅周辺のまちづくりについて』

→上石神井駅、武蔵関駅、上井草駅周辺のまちづくりの方針

## 8. 周辺まちづくり(参考:西東京市)



### H26.3 『西東京市都市計画マスタープラン』

→まちづくりを進めるための基本理念、将来像、施策の方向性



### H30.3 『東伏見駅周辺地区まちづくり構想』

→具体的なまちづくりの将来像